

令和7年度第4回小牧市廃棄物減量等推進審議会 議事録

日 時	令和8年2月18日(水) 午前10時～午前10時40分
場 所	小牧市役所 本庁舎6階 601会議室
出席者	<p><b>【委員】</b></p> <p>土屋 正富 区長会代表者          船橋 嘉成 区長会代表者          ○深堀 修 区長会代表者          丹羽 研二 区長会代表者          稲垣 幸子 小牧市女性の会          今枝 正 こまき環境市民会議          宇佐美 史夫 小牧市消費生活改善推進委員会          小川 泰子 小牧商工会議所          大野 公大 一般社団法人小牧青年会議所          市岡 信英 尾張中央農業協同組合          清田 啓嗣 株式会社不二屋(ナフコ)          ◎清水 真 学識経験者          野村 重樹 公募委員          舟橋 精一 公募委員          秋田 重巳 公募委員          馬場 容子 公募委員          ※ ◎会長 ○副会長</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>落合 健一 市民生活部長          小川 真治 市民生活部次長          渡邊 浩 ごみ政策課長兼ゼロカーボンシティ推進室主幹          宮下 美則 リサイクルプラザ所長          丹羽 誠 ごみ政策課ごみ減量推進係長兼ゼロカーボンシティ推進室専門員          多田 匠 ごみ政策課ごみ減量推進係兼ゼロカーボンシティ推進室主事          岡田 康助 ごみ政策課ごみ減量推進係兼ゼロカーボンシティ推進室主事          宗村 邦嗣 株式会社ウエスコ(ごみ処理基本計画策定支援委託業者)          森田 和宏 株式会社ウエスコ(ごみ処理基本計画策定支援委託業者)</p>
欠席者	<p>野平 一義 区長会代表者          村瀬 資生 区長会代表者          川淵 義隆 公益社団法人愛知県宅地建物取引業協会北尾張支部          高橋 美喜雄 愛知県食品衛生協会 小牧支部</p>
傍聴者	0名
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・議事1：パブリックコメント実施結果              小牧市ごみ処理基本計画(案)に対するパブリックコメントに提出された意見等の概要及び提出された意見に対する市の考え方              小牧市ごみ処理基本計画(案)概要版              小牧市ごみ処理基本計画(案)本編              小牧市ごみ処理基本計画(案)参考資料</li> <li>・議事2：令和8年度小牧市一般廃棄物処理実施計画(案)</li> <li>・議事3：資源回収貢献団体及びごみ集積場管理功績団体の選出について</li> </ul>

## 主な内容

### 1 あいさつ

市民憲章唱和、手持ち資料確認、清水会長あいさつ

### 2 議事

議事1：小牧市ごみ処理基本計画（案）について

・議事の資料に基づき事務局より説明。議事の内容について承認を得た。

以下説明内容。

令和7年12月5日から令和8年1月6日の期間でパブリックコメントを実施し、郵送にて1名から7件の意見提出があった。意見に対する市の考え方については配布資料「小牧市ごみ処理基本計画（案）に対するパブリックコメントに提出された意見等の概要及び提出された意見に対する市の考え方」のとおり。

意見による計画の変更はなし。

議事2：令和8年度小牧市一般廃棄物処理実施計画（案）について

・議事の資料に基づき事務局より説明。議事の内容について承認を得た。

以下説明内容。

#### 1 ページ目

計画の範囲を定め、「1 区域」は市全域、「2 計画期間」は令和8年4月1日から令和9年3月31日、「3 対象とする廃棄物」は市内で発生する一般廃棄物としている。

#### 2 ページ目

「4 分別区分及び排出方法」では、分別の区分や排出方法などを記載している。

例年では2ページ内表の下段※2にフロン使用製品は専門事業者にて処理する旨を記載しているが、令和8年度から家電リサイクル法対象機器以外のフロン使用製品については小牧岩倉エコルセンターにて一括受入れできるよう調整しているため、文言を削除した。

#### 3 ページ目

2ページと同様の理由により排出禁止物の欄から「フロン使用製品」を削除している。

#### 4 ページ目、5 ページ目

昨年度実施計画から大きな変更はなし。

#### 6 ページ目

「7 排出見込み量」について、「(1) 家庭系ごみ・資源」と「(2) 事業系ごみ」の推計値は、ごみ処理基本計画（案）の推計値と合わせた。

(3) のし尿・し尿浄化槽汚泥については、令和6年度実績と今年度の12月までの実績を用いて算出した。

#### 7 ページ目

「8 一般廃棄物の減量化、資源化のための方策に関する事項」について、ごみ処理基本計画（案）35ページ以降に記載のある「目標の達成に向けた取組み」をもとに作成し、各種具体的な施策を記載している。

#### 14 ページ中段

今回のごみ処理基本計画（案）から食品ロス削減推進計画の内容を追加している為、一般廃棄物処理実施計画についても同様の内容を記載しており、ごみ処理基本計画（案）の51ページと同様の内容となっている。

#### 15 ページ下段

「その他一般廃棄物の処理に関し必要な事項」について、一般廃棄物収集運搬業の許可と、小牧市クリーンセンターでの受入の制限について記載しており、例年の記載内容から変更はない。

議事3：資源回収貢献団体及びごみ集積場管理功績団体の選考について

・議事の資料に基づき事務局より説明。議事の内容について承認を得た。

以下説明内容。

趣旨としては、資源回収の推進に尽力した団体並びにごみ集積場の美化及びごみの分別・減量の推進に尽力した団体へ感謝の意を示すこと、としている。

対象について、資源回収貢献団体については、市に登録をしている資源回収団体、ごみ集積場管理功績団体については、区（地域の自治会）のうち、趣旨を満たすもの。

選出団体（案）について

資源回収団体について、選考基準については、直近2年間（令和5年、6年）で表彰されておらず、過去の表彰回数が3回未満であること、直近2か年（令和6年、7年）でそれぞれ2回以上活動を実施していること、今年度12月時点での実績が昨年度12月時点の実績より顕著に増加していること、この3事項を満たす団体を表彰することとした。

本年度について令和6年12月時点の実績と、令和7年12月時点の実績を比較することとし、結果、選出団体の案については、議事（3）資料の裏面、表1のとおり。

ごみ集積場管理功績団体について、選考基準については、ごみ集積場の早朝指導や日常の巡回業務、監視カメラの設置やごみ集積場の補修の実施の有無等から特に管理に尽力していると認められる地区とした。

選出団体の案については7区を選出した。

篠岡第3区、光ヶ丘第1区については区長の尽力により既設のごみ集積場の整備が進み、市民の排出利便性向上につながった。

米野区、村中区、久保一色中南区、城山第5区、小木上区については、廃棄物適正処理指導員より、日常の巡回業務の中で、特に顕著な改善が見られたと報告を受けていることから選出した。

具体的には、役員やごみ当番等の熱心な管理や分別不良ごみの早期での特別収集依頼等を行うことで、以前より不適正な排出が減り、ごみ集積場が清潔に保たれているとのことであった。

これらの団体について、感謝状を贈呈する予定である。

質疑応答について以下のとおり。

議事1：小牧市ごみ処理基本計画（案）について

馬場委員)

令和2年度から令和6年度を計画期間としている現行計画では、57ページ等で資源の品目別の推計値を記載しているが、今回提示されている計画（案）や参考資料の中には資源全体の推計値はあるものの品目別の推計値はない状況である。可能であれば現行計画と同様に品目別に推計値を掲載してはどうか。また、計画の策定にあたり、今一度事務局にて内容を確認し、誤字等あれば修正して計画を策定していただきたい。

事務局)

品目別推計値の掲載及び誤字等の確認について、内部で検討し対応させていただく。

議事2及び議事3について質疑応答なし。

以上